



※ガラススクリーンは延焼エリアを避け、枠を用いず厚ガラスとバックマリオンで風圧に抗う。鋼管は耐火塗料仕上。軒天井はアルミパネル。

【大きな家具としてのデッキ空間】  
寝ころぶ・もたれる・座るなどリビングに居るような自由な姿勢での寛ぎを提供するデッキ材はオランダ企業が特許を所持する天然含浸材の無垢板

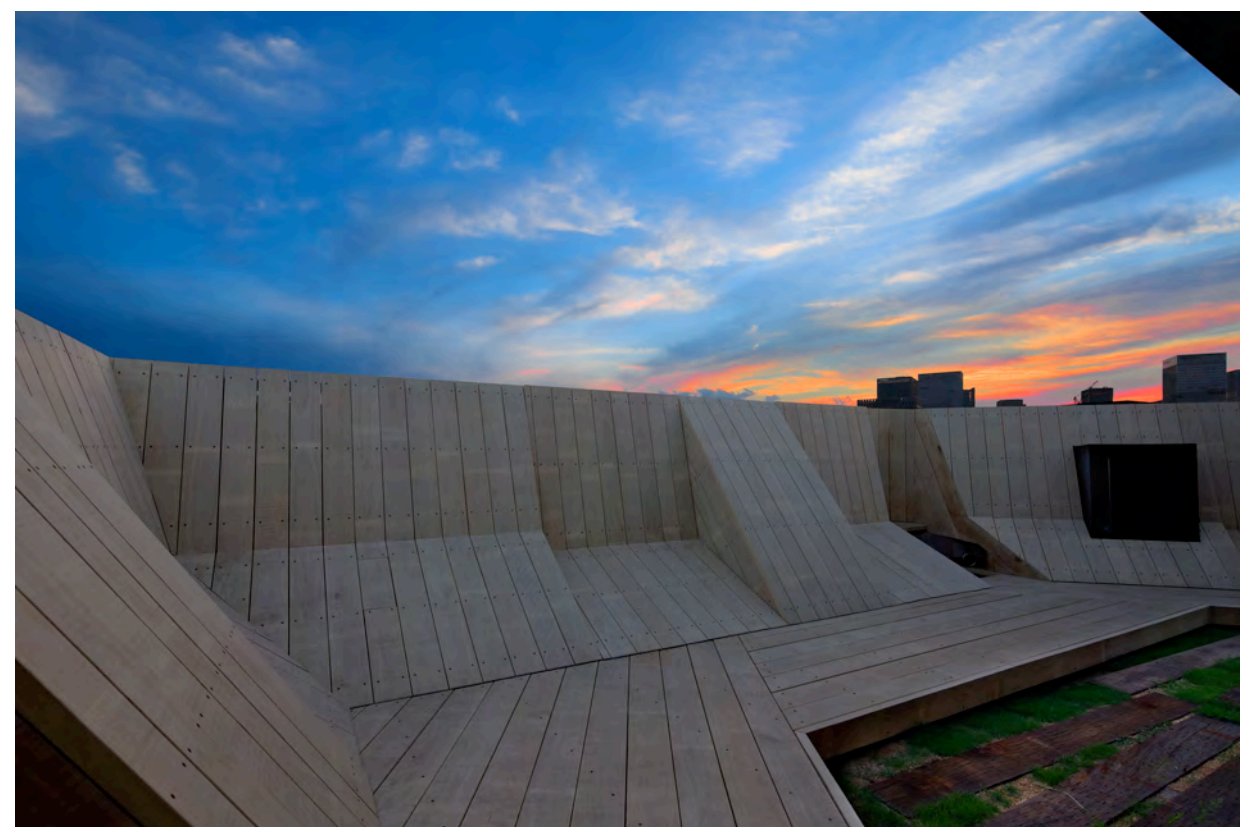


コルテン鋼のチューブ

高麗芝と枕木



集う住人の様子



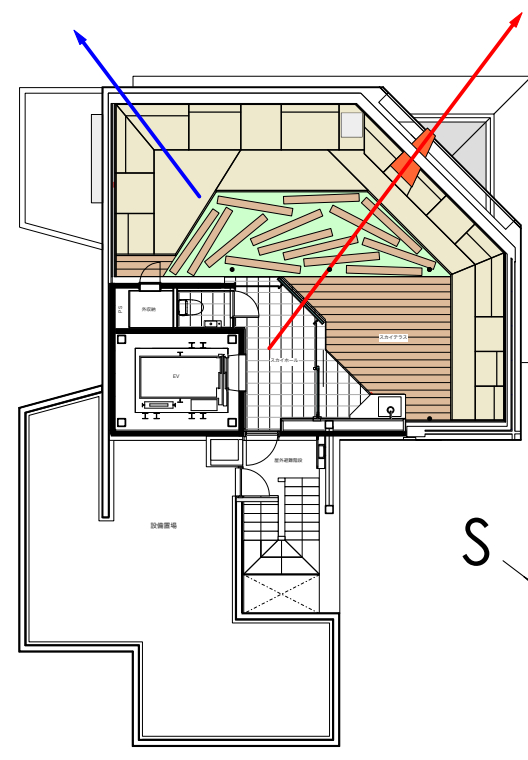
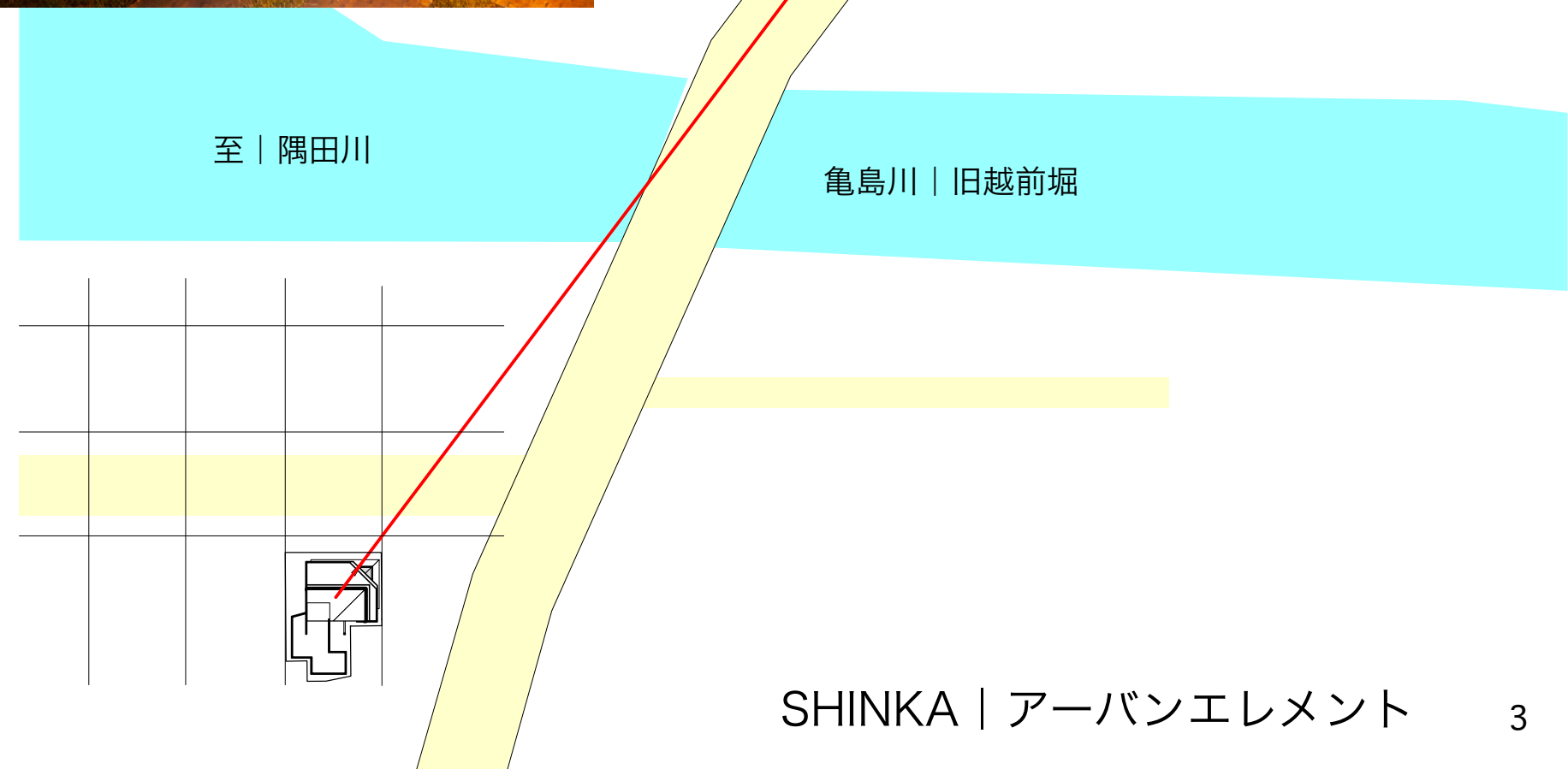
スカイテラスコミュニティ

# Urban element

40m超えの高層ビルディングとして都市景観との関係性を考察。前面道路がつくる街割りに配置を従える。一方その街割りと37度振れた幹線道路 | 皇居へとつながる鍛冶橋通りをこの周辺の強い個性と考え結びつきを強くするコンセプトとした。都市レベルからその土地の潜在力を引き上げ得る視点を得た。アイレベルでは凡庸に感じられる土地も都市レベルには建築的アイデンティにつながる種子が内包されている顕著な例といえる。

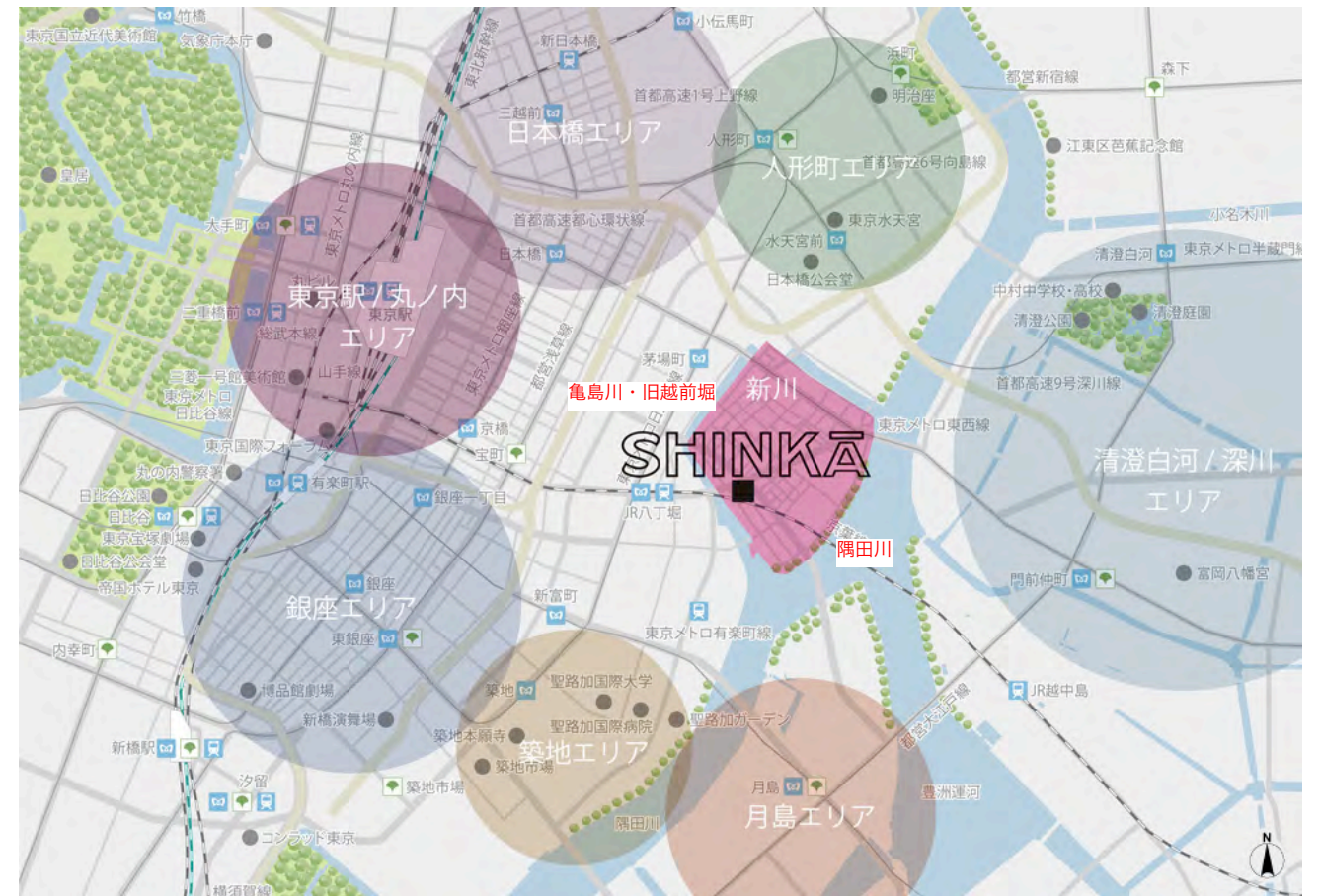


Urban elementを借景した開口部  
24時間営みをやめない都市風景  
揺れ・蠢(うごめ)く・イルミネーション



都市の動脈  
鍛冶橋通を  
受止める

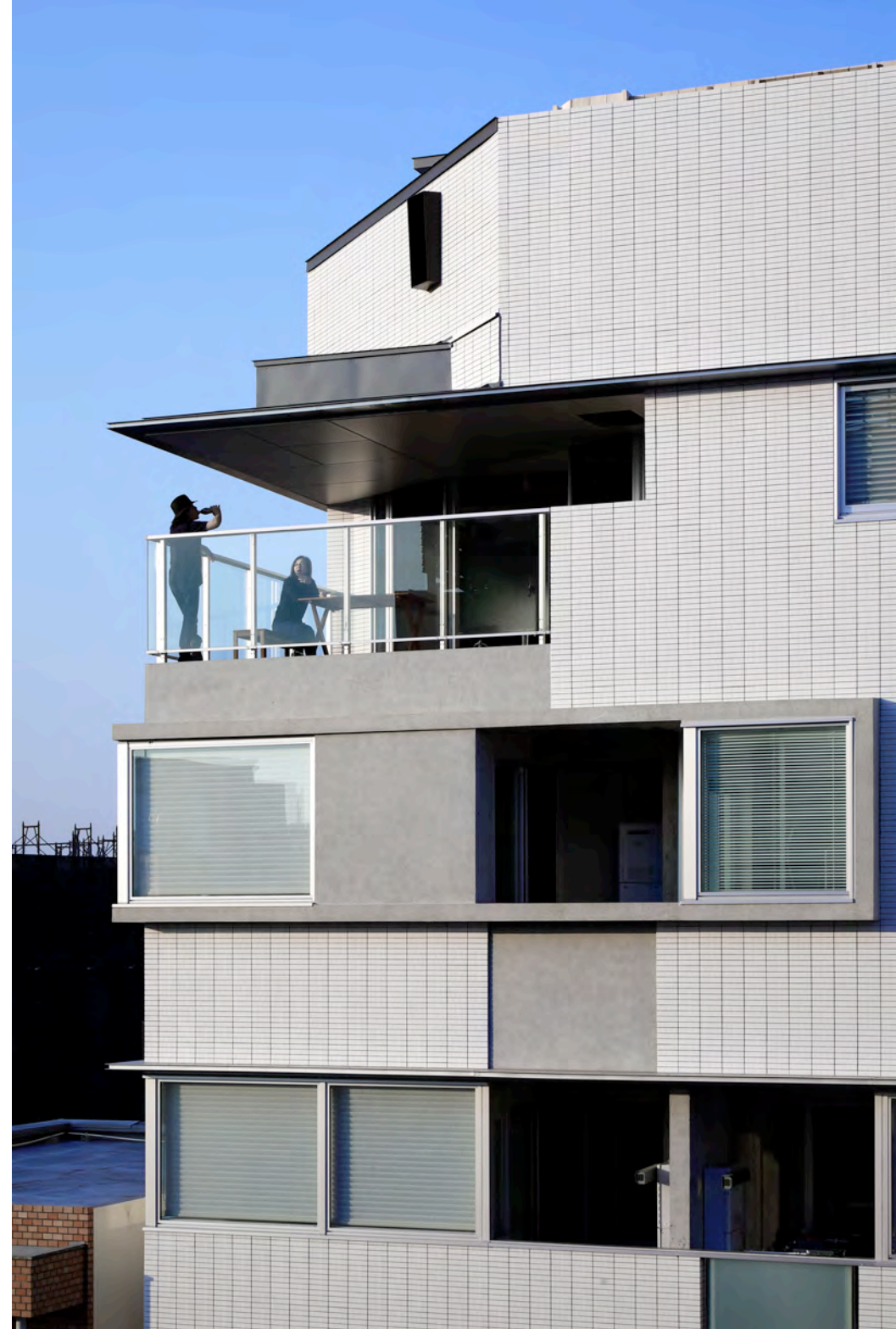
街割り  
前面道路



SHINKĀ | CONTEXT

堀と川・自然要素によって格子状の都市構造が複雑に変形してゆく





高層部に佇まい  
のある生活風景



Urban  
element



24時間動き続ける都市の  
大動脈を受止める構え。

東京中央区新川周辺の新築高層マンションの多くが、アウトフレームで計画され凡庸な表情となっている。オフィス街が居住区に急変するこのエリアには均質な表情の事務所ビルも混在しており、アウトフレームマンションは違和感を禁じ得ない。SHINKAではインナーフレームの手法を取り、各住戸の多様性を自由にファサードに映し出すこととした。夕刻から杉本ざね型枠のコンクリート打放フレームが1階から最上階へと屹立する様子が際立つ照明計画。オフィスとは差異をもち、周辺マンションの常套手法からも離れることでキャラクターのある印象が生まれている。



Inner frame

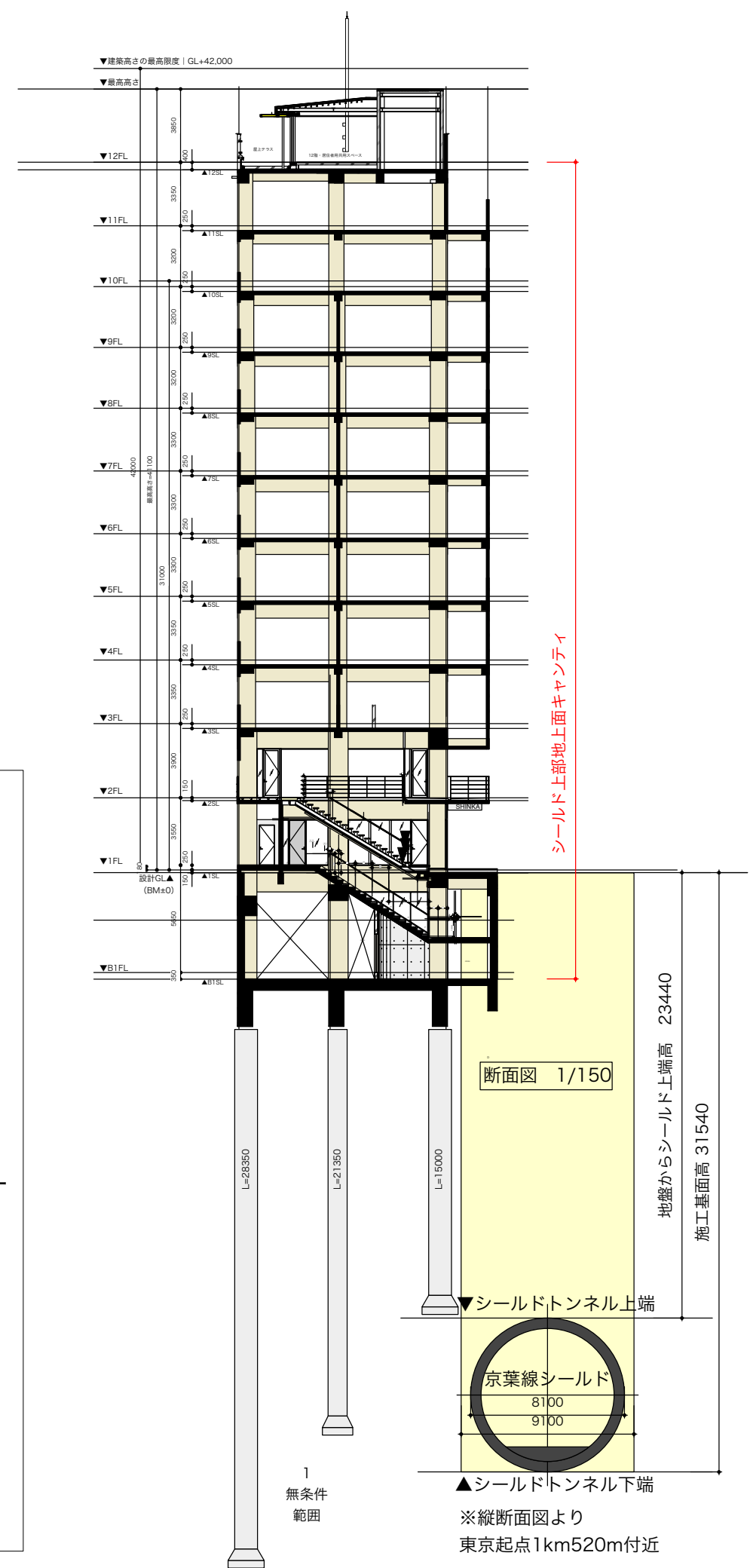
SHINKA | 印象づくり





地下24mで敷地を横切るJR京葉線。シールドへの荷重制限から柱、杭工事に過酷な規制がかかる。シールドチューブに一切の鉛直荷重をあたえないよう地上部をキャンティでもちだす断面計画を構成の基本とし、この領域に採光上のオープンスペースを担わせる。キャンティ部短杭と搭状建物としてのバランスを獲得すべく対角側の杭を深くふんばらせ引抜に耐える設計となっている。

## Solution



南側開口部直上についた  
30cm弱のアルミ庇は夏  
場の南中時、開口部全体  
を影が覆う装置。  
ダイレクトゲインを制御  
し $\eta A$ （イータエー）値  
性能を高め夏の涼に貢献  
する。

## Solution









演者の影が映像に干渉せず足下まで映し出す舞台背景づくりでイベントを多様に演出する。

# SHINKA HALL



床材は北海道のミズナラ





## SHINKA | 街路への姿づくり

集合住宅に不相応な大空間をエントランスホールに割り当てず、あえて小面積に抑えることで低層部にテナントを導入。かつてはオフィス街で、低層部にお店も存在したが、集合住宅への建替えにより活気が失われた。街路に華やかさをもたらせる仕掛けとしても、店舗が有効であると判断した。



行き交う人々を映し出すステンレスマリオンは円形に凹んだ特殊形状。凹んだ正面は鏡面仕上、他はパイブレーション仕上で不思議な映込みが生じる。一方バックマリオンは無垢のスティールでリン酸処理の漆黒な存在。



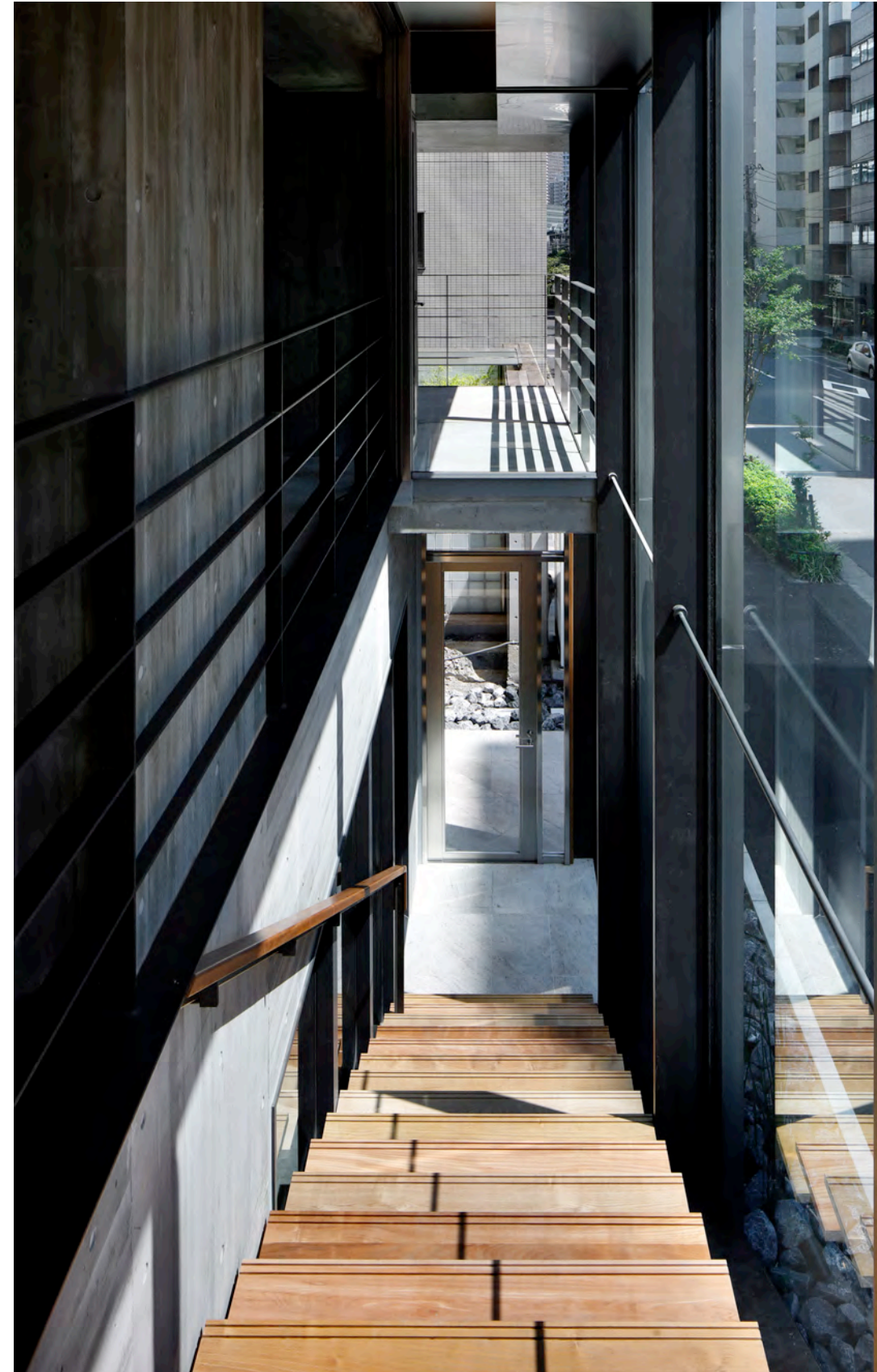
SHINKA | 街路への姿づくり

## SHINKA | Fragmentation

階段空間 | エスプラナード  
様々な樹種の無垢の階段は  
鍵盤のような色合いの靴音を成す



シンカホールへのアプローチ階段は全て異なる無垢の天然木。  
靴音が鍵盤のように異なる音色を奏でる。  
オビノコで表情が与えられた格子は、真鍮のパイプで貫かれ  
闇で光を集める。





1・2階テナントはスケルトン貸し

1階 | 写真下 | はバーが決定している

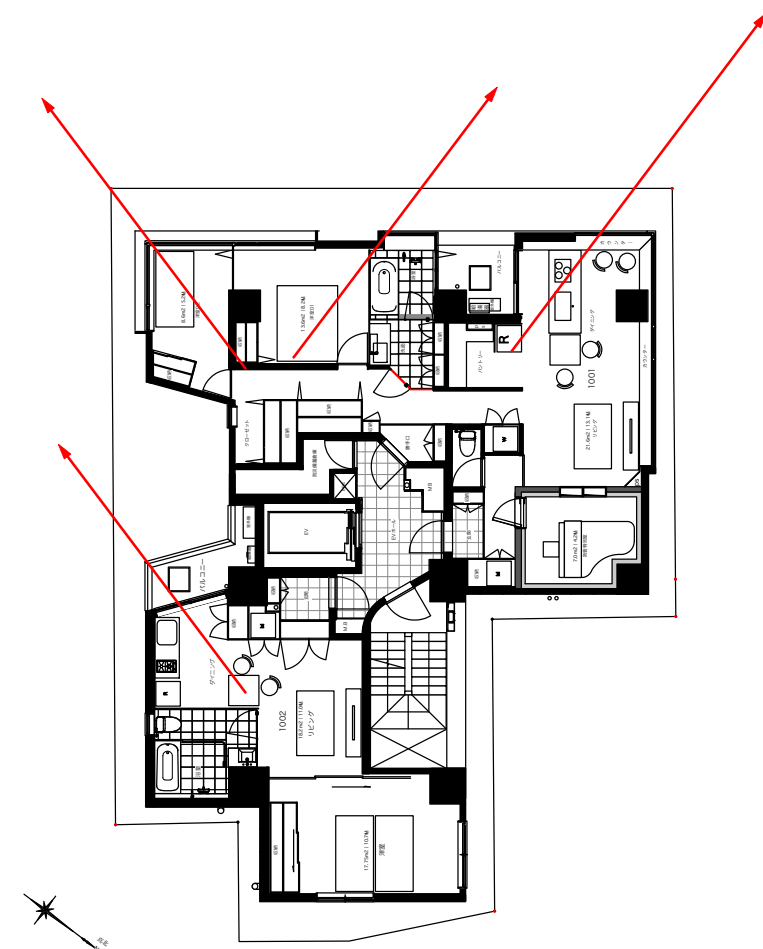
住戸エントランス  
ステンレスの2B材、シルバー左官  
真鍮、亜鉛塗装、ライムストーン  
などのマテリアル



SHINKA | Fragmentation



## Urban element



都市交通をイルミネーションのように借景するコンセプトは全ての住戸に採用し正面ビジネスホテルの視覚的な圧迫感を緩和させている。



SHINKA | 10階  
Luxurious room



別紙資料にある高度な防音性能の特別室はC5タイプのピアノが設置可能。教室の開催などに応えるプランニングを成している。

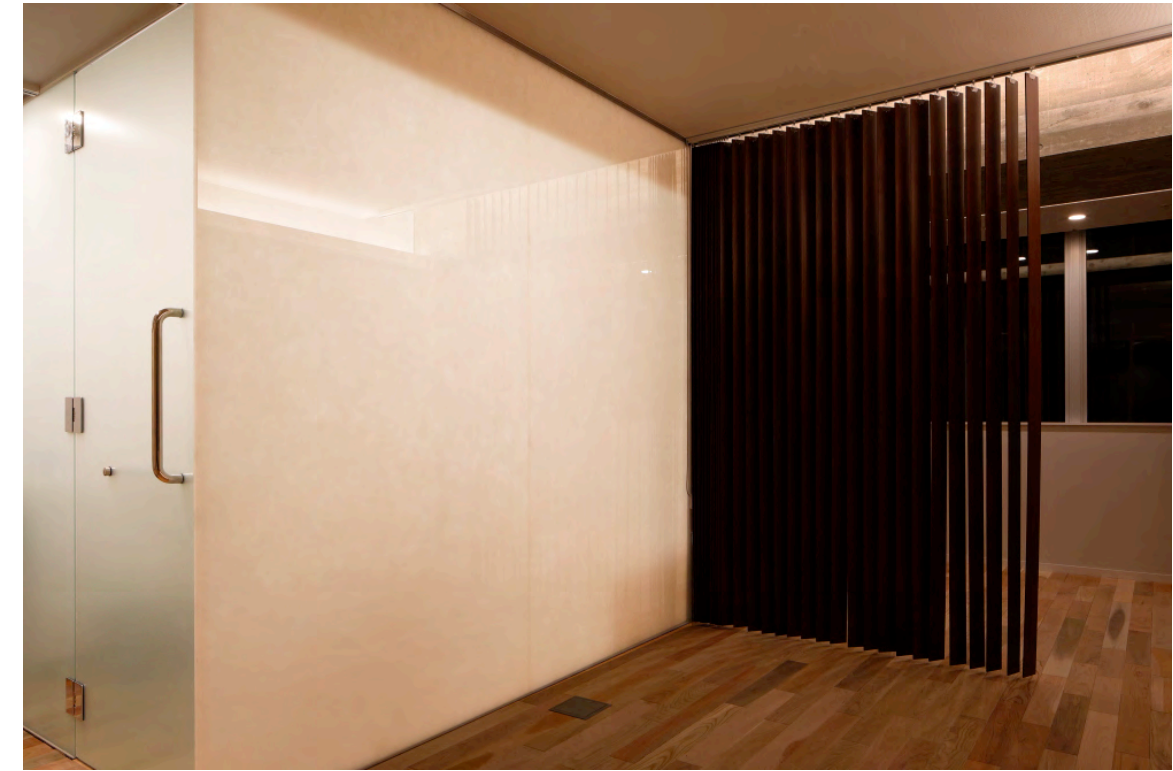


SHINKA | 10階  
Luxurious room





垂直要素として特徴的な結晶化ガラスの豊かな表情を活用し全タイプ水廻りとバススペースが照明器具のように機能する計画。  
300kg/m<sup>2</sup>という高耐力を所持したガラスで自立する。厚さ20ミリのソリッドな存在感である。



### 素材の響きあい

オクト・オクターブを受けて8種の樹種によるアンサンブル効果を床板に託している。

### SHINKA | 1号室のバリーション



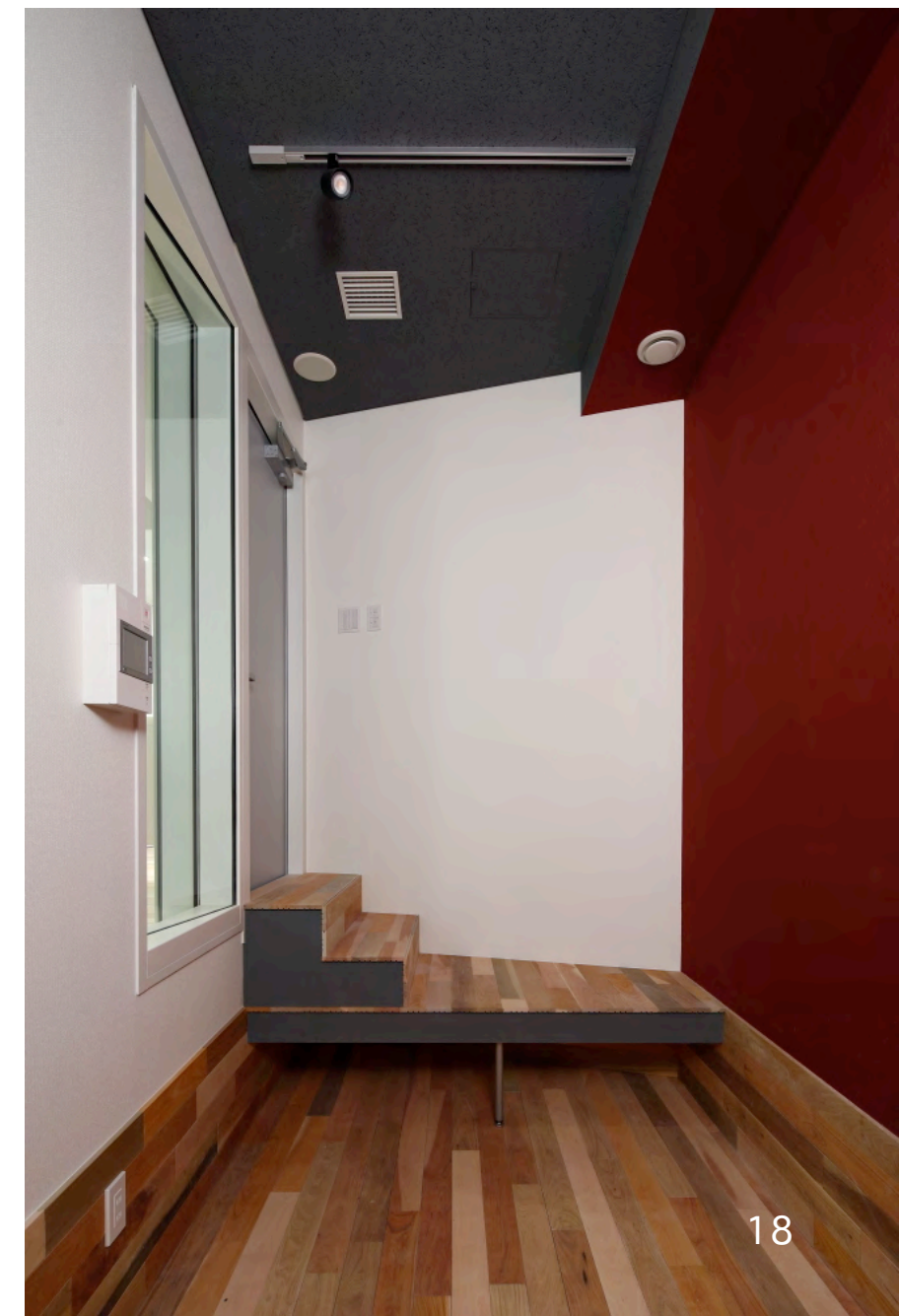
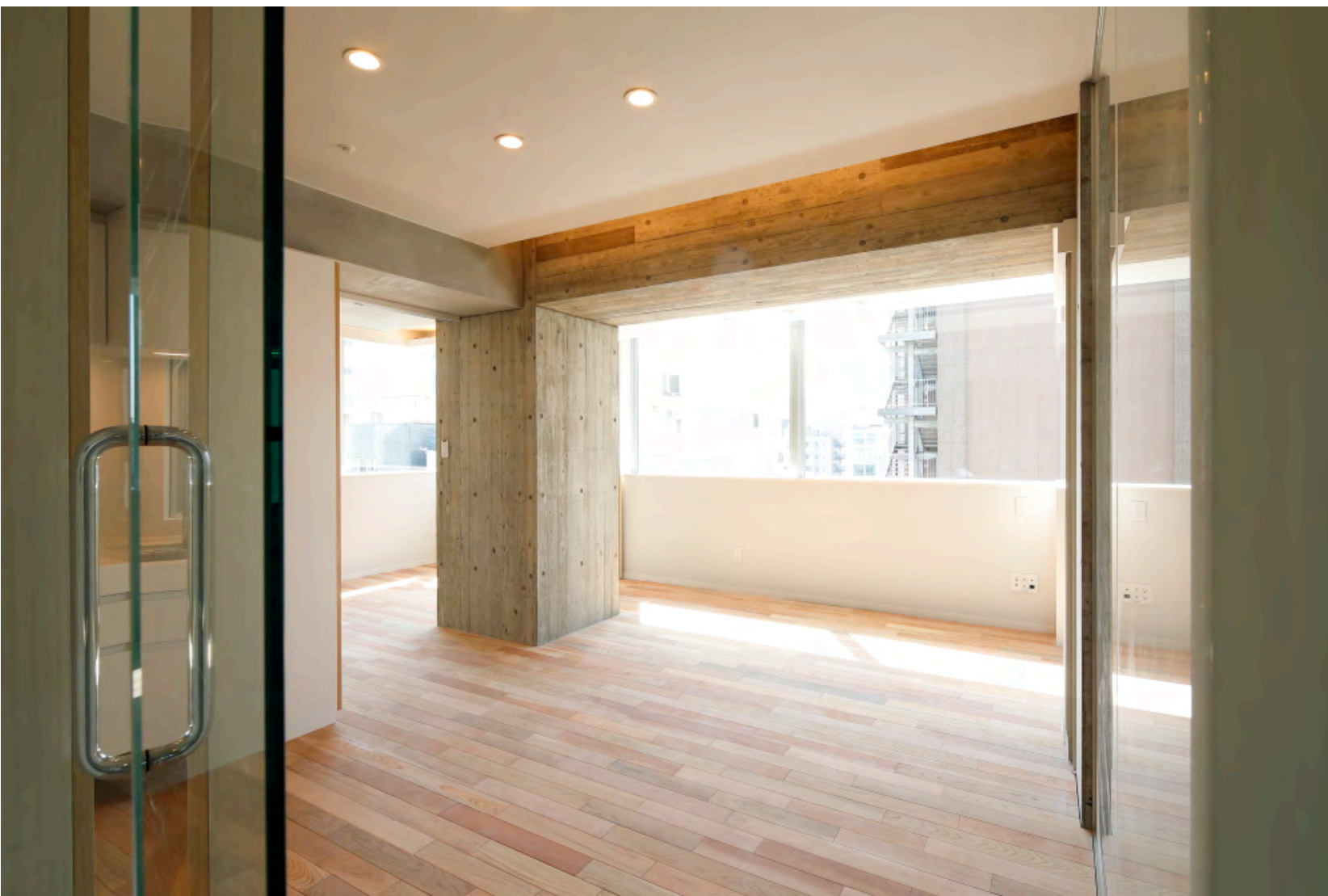


## 照明計画と構造計画の整合

夕景にインナーフレームが際立ちインテリアがイクステリアとなる照明計画。直接照明に頼らない落ち着いた光環境で構成されている。

Urban element  
どの部屋も斜めに向かう通りを借景する

## SHINKA | 2号室のバリエーション



防音特別室



SHINKA | 3号室の水廻り  
素材の響きあい



## 静けさが価値である

都市生活に希少な価値は『サイレント』であると目標をたて、防音室のみならず・サッシ・エアコン換気扇・吸気口からのノイズをシャット。ALCの目地も内側から全てシールを行った。豊かな静けさを楽しむ場所として入念な施工が為された。防音特別室は音楽以外への活用も可能。軽運動・ヨガ・ホビー・映画干渉など、通常の居室ではかなわない音や振動を伴うアクティビティを受入れる。



シースルー防音室 | 3重ガラス | リビング方向を見通す



防音室を見通す



# Urban element

SHINKA | 11階

SOHO room

SOHOタイプの住戸は大きな底の広いテラスを持つ。遠景からの視線にメッセージする都市と対話するアウトドアリビング。

SHINKA諸元  
コミュニティ・スカイテラス&イベントホール  
賃貸集合住宅 | テナント2区画付き  
設計 | 長谷川順持建築デザインオフィス  
施工 | 辰  
音響設計 | 昭和音響  
構造設計 | 西園博美  
設備設計 | ZO設計室  
住戸数 | 25戸

